



平成26年4月8日

各 位

上場会社名 株式会社 原弘産
代表者 代表取締役社長 原 孝
(コード番号 8894)
問合せ先責任者 専務取締役 園田 匡克
(TEL 083-229-8894)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年10月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,605	45	△310	25	1.12
今回修正予想(B)	1,372	△449	△798	△293	△12.93
増減額(B-A)	△6,233	△494	△488	△318	
増減率(%)	△82.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	1,638	△507	△224	△328	△16.12

平成26年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,375	△300	△470	△10	△0.45
今回修正予想(B)	1,341	△368	△513	△304	△13.41
増減額(B-A)	△34	△68	△43	△294	
増減率(%)	△2.5	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年2月期)	1,562	△330	△64	△713	△34.98

※今回修正予想(B)における1株当たり当期純利益については、平成26年2月21日を払込期日とした第三者割当(DES)による増資を考慮しております。

修正の理由

＜連結＞

売上高につきましては、分譲マンション等の複合施設の竣工が遅れていた中国連結子会社株式を物件竣工前に売却したこと、不動産売買仲介の斡旋が計画を下回ったこと、事業資金の確保が出来ず戸建住宅等の買取り販売を展開することができなかったこと等から、大幅に減少する見込みです。営業利益及び経常利益につきましては、前述の中国における売上高の大幅な減少に伴い利益確保に至らず減少する見込みです。当期純利益は、関係会社株式売却益等の特別利益を計上するものの前述の内容を考慮し修正するものです。

＜個別＞

売上高につきましては、不動産賃貸管理事業が堅調に推移したものの、前述の＜連結＞に記載のとおり、不動産売買仲介の斡旋、戸建住宅等の買取り販売が計画をそれぞれ下回ったことから減少する見込みです。営業利益及び経常利益につきましては、たな卸資産評価損51百万円を売上原価に計上したことによりそれぞれ減少する見込みです。当期純利益につきましては、中国連結子会社株式の売却額及び債務免除額が想定を下回ったことにより減少する見込みです。

＜債務超過について＞

前述のとおり、平成26年2月期は、当初計画を大幅に下回り、当期純損失を計上することとなりました。しかしながら、中国連結子会社の株式売却による特別利益の計上により当期純損失額が減少したこと、及び第三者割当増資(デット・エクイティ・スワップ)の実施により、平成26年2月期において債務超過の状態は解消される見込みです。

以 上